



ベンソン・B・フィリップス・ジュニア (Benson B. Phillips, Jr.)
1941年11月29日～2022年8月15日

カリフォルニア州における安息集会
2022年10月9日、主日
リビングストリームミニストリー・カンファレンスセンター
カリフォルニア州、アナハイム

詩歌1

歓迎・紹介

開始の祈り

案配された語り手

詩歌2

結びの祈り

「……神のみこころによって彼自身の世代に仕え、……」

(使徒 13:36)

「わたしは良い戦いを戦い抜き、行程を走り終え、その信仰を守り通しました。
今からは、義の冠がわたしのために用意されているのです。……」

(Ⅱテモテ 4:7-8)

「しかし、あなたはわたしの教え、振る舞い、決意、信仰、辛抱強さ、愛、忍耐に緊密に従い」

(Ⅱテモテ 3:10)

「あなたは年が若いからといって、だれにも軽んじられてはなりません。むしろ言にも、振る舞いにも、愛にも、信仰にも、純潔さにも、信者の模範となきなさい」

(Ⅰテモテ 4:12)

「そして彼ご自身は、ある人たちを使徒、ある人たちを預言者、ある人たちを伝道者、ある人たちを牧する者また教える者として与えられました。それは、聖徒たちを成就して、その務めの働きへと、キリストのからだの建造へと至らせるためであり」

(エペソ 4:11-12)

詩歌1 補423 (英1212)

- 1 忠信なものに主は、 ご計かく見せ、
かれらは処女のように 世をあとにす。
はなよめなるため、 主に符合する。
絶えず主を享受し、 そなえをする。
- 2 単いつな処女のように、 はなむこ愛す。
主のりん在に入り、 ミングリングされる。
だい価をはらって 宴せき享受し、
日ごと主を得るを 主よ、われねがう。
- 3 処女は円じゅくして、 せいちょうする。
日々主を食べ飲み、 分をきょう受す。
われらのひつ要は、 いのちの成長、
知しき教理でなく、 すべていのち。
- 4 主よ、いのちのたね、 うちで成長し、
うちなる諸部分に 浸透したまえ。
うちなるひとへと ぞうきょうされ、
うちにホームづくり、 なれで満たせ。

詩歌2 604 (英 839)

- 1 主は陶器師, また けんぞうする主;
つくり上げ, また けんぞうされる。
われ, 新そうぞう 生けるいしなり;
ながうつわ, また みやとなるため。
- 2 つちのうつわを なれ, つくり変え,
いのちぶん与し, ほうせきとなす。
さらに建造され, はなよめとなり,
主に占ゆうされ, 主といちとなる。
- 3 なれのねがいは, ざいりょうもちい,
ながいえ建造し, なれが住むこと;
すべてをふくむ 主の表げんには,
けんぞうされた しょう会がひつ要。
- 4 たんどくでなく, だん体のいのち,
なれのねがいを かん全に成就す。
ながみからだに 建造されてこそ,
ながほうまんを ひょうげんし得る。
- 5 主よ, われをいま, 孤りつさせずに,
聖徒らとともに けんぞうしませ。
けんぞうのため, すべてをささげ,
なれにえいこう 帰すことねがう。

わたしたちの親愛なる、ベンソン・B・フィリップス・ジュニア兄弟は、1941年11月29日、テキサス州ビッグスプリング（アビリーンの西、約100マイル）で、神を畏れるクリスチャン家庭に生まれました。幼いころから、両親は彼をクリスチャンの集会にいつも参加させ、神の言葉を定期的に聞くように導きました。彼は長年にわたって福音を聞いてきましたが、12歳のころに、自分が救われていないということを主によって強く責められ、そして牧師に助けを求めました。この牧師は、彼が多くの涙を流して主を受け入れることを助けました。彼は再生された若い信者として、中学校と高校で、多くの友人を熱心に主に導き、生涯にわたって福音を宣べ伝える負担を取りました。

彼は高校卒業後、最終的にテキサス州プレインビューのウェイランド・バプティストカレッジに入学し、多くの学校団体の会長に選ばれました。その一つの団体を通じて、彼は周辺の教会において、またこの地域で働くスペイン語圏の人たちの中で、他の多くの人たちと共に福音を宣べ伝えました。彼は福音に加えて、聖書の基本的な真理、ペンテコステ的な賜物、ナビゲーターズミニストリーの間での命の実行という三つの他の方向性において次々に時間を費やして労苦しました。彼はウェイランドでのこれらの月日の間に、ジェームズ・バーバー兄弟とも親しくなりました。彼はこの兄弟と共に、ウオッチマン・ニー兄弟の多くの務めの書物を読みました。そして彼を通してウオッチマン・ニー兄弟の同労者であるウイトネス・リー兄弟の務めが、大学の多くの人々にもたらされました。

ベンソン兄弟は、1963年に卒業した後、1964年1月にダラスに移り、フォートワースの神学校に入学しました。彼はその年の春、ダラスでリー兄弟の語りかけを聞くことができました。彼は、リー兄弟の二つのメッセージしか聞きませんでした。供給された命と真理に心を打たれて、ニー兄弟とリー兄弟が提示した召会に関する真理の中へと完全に入り込み、彼らが正しいかどうかを見ることを決意しました。彼は、召会に関する五十五の点について新約聖書を集中的に研究した後、完全に納得し、この二人の兄弟の務めにおいて提示された道を取ることを固く決意しました。その年の6月、彼はロサンゼルスに行き、地方召会の実際的な表現を見て、リー兄弟の7週間半の特別集会と訓練に参加しました。程なくして彼の妻となるバーバラ姉妹は、そこで彼に従って行き、召会の同じ啓示とビジョンの中へと入りました。プレインビューにいたすべての聖徒たちも、その特別集会と訓練に参加していました。

プレインビューの聖徒たちはそこで召会の一の立場の上ですでに集会をしていたので、ベンソン兄弟はそこに戻り、彼らと短期間、集会をしました。しかし、彼の心はテキサスのさらに多くの地方召会にありました。彼はプレインビューに在る召会との交わりの中で、1964年11月にテキサス州ウェーコに移りま

した。バーバラ姉妹はそこの大学に通っていました。1965年1月、この二人とその他の三人が、ウェーコに在る召会として集会を持ち始めました。ベンソン兄弟とバーバラ姉妹は、1965年1月23日にそこで結婚しました。

ベンソン兄弟とバーバラ姉妹は1969年までウェーコでの召会生活を享受していましたが、そのころ、テキサスの諸地方召会の間には、一つの都市において一にされるという感覚がありました。そのとき、約七十人の聖徒がヒューストンに移り、主はそこの召会に次第に増し加わりを与え始められました。1973年、リー兄弟はベンソン兄弟に、ダラスの召会を強めるためにダラスに移ることを考慮するように求め、ベンソン兄弟はためらうことなく、その負担を取りました。その後数年間、彼はバーバラ姉妹と、三人の子供たち、すなわち、ベンソン三世、エイミー、スザンナと共に、再びダラスで三度（1976年、1978年、1980年）、またオクラホマ州オクラホマシティで（1976年）、マサチューセッツ州ボストンで（1978年）、再びヒューストンで（1977年）、そしてテキサス州アービングで（1981年）、頻繁に、時には一回に数か月間だけ、移動しながら、地方召会を強めるというこの奉仕を遂行しました。

1975年、ベンソン兄弟は主の回復における彼の奉仕の新しい段階に入りました。それは、リビングストリームミニストリーで、リー兄弟と直接組み合わされることでした。彼の最初の使命は、カリフォルニア州アナハイムに移り、務めの集中訓練のための集会所のすべての資材の購入を監督することでした。この奉仕の間、彼はリー兄弟から、主の働きにおいて組み合わされる方法を多く学び、リー兄弟はリビングストリームの多くの事柄のために、彼に頼るようになりました。このプロジェクトの後、彼は1976年にテキサスの諸召会の間での彼の奉仕に戻りました。その後、1979年にリー兄弟はヒューストンにリビングストリームミニストリーのオフィスを開設し、ベンソン兄弟はそのオフィスと組み合わされるために、頻繁にそこを訪れました。1980年までに、そのオフィスに対する必要が、ヒューストンの資源を上回り始めたので、リー兄弟はテキサス州アービング（ダラス-フォートワース・メトロプレックス）に別の集会所と別のオフィスを建設することに対して、ベンソン兄弟と兄弟たちに同意しました。この時、それは、遠距離での組み合わせを要するものであったにもかかわらず、その組み合わせは緊密で詳細にわたるものでした。1982年、リー兄弟は、アービングの新しい務めの集会所において半年ごとの訓練を持ち始め、そしてその施設で、毎年数か月間生活しました。1988年7月、リー兄弟はベンソン兄弟に、リビングストリームの役員に加わり、ミニストリーのオフィスを共に監督するよう求め、また1996年にはリー兄弟に代わってリビングストリームの代表を務めるよう求めました。ベンソン兄弟は、2022年に彼自身が地上を去る瞬間まで、リビングストリームミニストリーでこの奉仕を続けました。

1988年2月、リー兄弟は、アメリカ合衆国の青年のための最初の全時間クリスチャン訓練をアービングで開始し、それをベンソン兄弟の監督下に置きました。リー兄弟は1989年に台湾からアメリカ合衆国に戻ったとき、アナハイムで別の全時間訓練を開始することを決定しました。しかし、ベンソン兄弟は、アメリカ合衆国で二つの訓練が行なわれることや、リー兄弟からの直接の訓練をだれかが逸することを望んでおらず、アービングでの全時間訓練を終了して、すべての訓練生をそこからアナハイムに送るという感覚を持ちました。

ベンソン兄弟は、1991年8月18日にソビエト連邦が崩壊した後、ロシア語圏で奉仕したことでおそらく最もよく知られています。その月と当時の政治的動乱の最中に、彼と他の数人の兄弟たちは、予定されていたブックフェアのためにモスクワを訪れましたが、主催者によって直前にキャンセルされてしまいました。ベンソン兄弟と兄弟たちは代わりに、リー兄弟との交わりの中で、モスクワの通りや地下鉄に出かけて行き、そこに持ってきた印刷物をすべて配布しました。同時に、彼らは二万五千以上もの、その印刷物のさらなる注文を受けて、これらの名前と住所をアナハイムに持ち帰りました。リー兄弟はロシアでの緊急の働きの必要性を見て、ロシアでの福音の宣べ伝え、務めの翻訳、新しい諸召会の建造のためにできるだけ早くモスクワに移るようベンソン兄弟に求めました。その要求は突然で全く予期していなかったものでしたが、ベンソン兄弟はためらわずに同意し、1991年11月に約四十人の全時間奉仕者と共にモスクワに移りました。モスクワで五週間にわたって福音集会が開かれ、五千人が主を受け入れ、二千人がそこでバプテスマされました。その後、1992年の初めにロシアのサンクトペテルブルクで五週間の福音集会が開かれ、そこで一万九千人が主を受け入れ、五千人がバプテスマされました。これが、これら二つの都市での力強い召会生活の開始であり、最終的には旧ソ連のほとんどの国に広がりました。また、1991年11月に、ベンソン兄弟はモスクワで大規模な出版の働きを開始し、それは最終的にロシア語の数百もの主題の書物とロシア語の新約聖書回復訳を出版しました。ベンソン兄弟は1991年から1996年までロシアに住んでいた間、福音において、出版の働きにおいて、地方召会を建造する働きにおいて何百人もの奉仕者を成就しました。

1996年、彼は次にどこで奉仕すべきかについてリー兄弟と再び交わり、ほとんどの時間をアナハイムで過ごすことを申し出ました。リー兄弟が1997年6月に主のもとへ行った後、ベンソン兄弟はリビングストリームミニストリーと共に、御言の務めにおいて、出版の働きにおいて、アナハイムに在る召会の長老の一人として、世界中の同労者の間で仕えました。彼は2018年まで、諸召会、導く者たち、諸召会の多くの兄弟姉妹を顧みるために、広範囲にわたって旅をし、その後、健康上の理由で活動が制限され始めました。2022年6月、彼はテ

キサス州アーリントンに移り、そこで彼の長く実りあるクリスチャン生活と召会生活の最後の日々を過ごしました。彼は、2022年8月15日の夜、彼の愛する妻であり同労者であるバーバラ姉妹に看取られながら、自身が愛し仕えた主イエスと共にいるために、主イエスのもとへ行きました。

わたしたちの親愛なるベンソン兄弟は、「言にも、振る舞いにも、愛にも、信仰にも、純潔さにも、信者の模範」(1テモテ 4:12)として、心から惜しまれる者であり、彼は自身のすべて家族とわたしたちすべての人によって愛され、覚えられるでしょう。わたしたちに対する神の賜物のゆえに、神に感謝します！

ベンソン兄弟の家族は、この集会に参加してくださったすべての聖徒たちに対して、また期間中のすべての祈りに対して、深い感謝の意を表しております。

この集会の録画のリンクについては以下の URL にアクセスしてください：

www.memorial-meeting.org

手紙や追悼文の送付先は下記のメールアドレスになります：

bensonphillips@lsm.org